

# スマートフォンやモバイルバッテリーなどの リチウムイオン電池使用製品における安全啓発 HP の 公開について

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(以下「MCPC」)は、スマートフォンやモバイルバッテリーなどに利用されているリチウムイオン電池の事故を防ぐポイントをまとめた安全啓発ホームページ(以下 HP)を公開しました。

(HP URL : <https://www.mcpc-jp.org/usingLiBat/>)

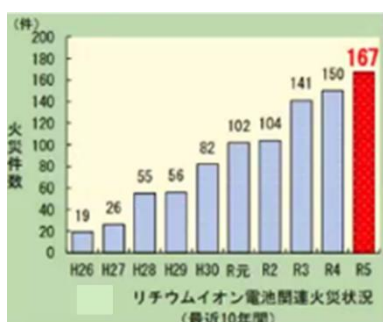
(HP 抜粋)

 <p>【NTT docomo】 誤ったリチウムイオン電池の取扱いはとても危険！</p>	 <p>【KDDI】 スマートフォンのリチウムイオン電池を安全に使うためのご利用ガイド！</p>	 <p>【ソフトバンク】 そのまま捨てたら、超キケン！ 知っておきたいリチウムイオン電池を含む製品の発火原因と正しい処分方法</p>	 <p>【楽天モバイル】 リチウムイオン電池製品の安全使用について</p>
 <p>【Anker】 モバイルバッテリーの安全な使い方と取扱における注意点</p>	 <p>【Owltech】 使えなくなったモバイルバッテリーはどうすればいいの？</p>	 <p>【多摩電子】 リチウムイオンバッテリーを搭載している製品について</p>	 <p>【トップランド】 ・モバイルバッテリーを安全に使おう！</p>
 <p>【センチュリー】 リチウム充電器を安全にご利用いただくために</p>	 <p>【PGA】 【火事の恐れも】モバイルバッテリー事故例と安全に使う4つのポイント</p>		

## 1. 安全啓発 HP 公開の背景

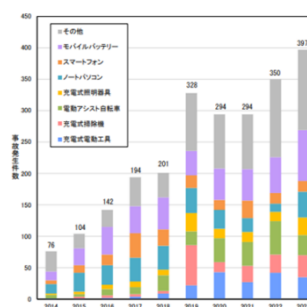
東京消防庁によると、近年、リチウムイオン電池が出火するケースが増えており、令和 6 年は過去最多となっております。また、独立行政法人製品評価技術基盤機構(以下「NITE」)による調査においても、「リチウムイオン電池搭載製品の事故発生件数」が増加傾向にあります。

モバイル機器をより安心・安全にご利用いただくため、スマートフォンやモバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池の取扱いについての情報を各通信事業者及びモバイルバッテリーベンダーと連携し、本日、当団体の HP にて発信いたしました。



出典：リチウムイオン電池搭載製品の出火危険（東京消防庁）

[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kasai/lithium\\_bt.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kasai/lithium_bt.html)



出典：リチウムイオン電池搭載製品の事故発生件数の推移（NITE）

<https://www.nite.go.jp/data/000154542.pdf>

## 2. 掲載内容

購入～取り扱い～廃棄まで、リチウムイオン電池の事故を防ぐポイントをそれぞれ掲載しております。

春は、新年度を前に新しくバッテリーを購入される方や引っ越しで誤って一般ゴミと一緒にバッテリーを廃棄されてしまう事故が発生しやすい時期となります。

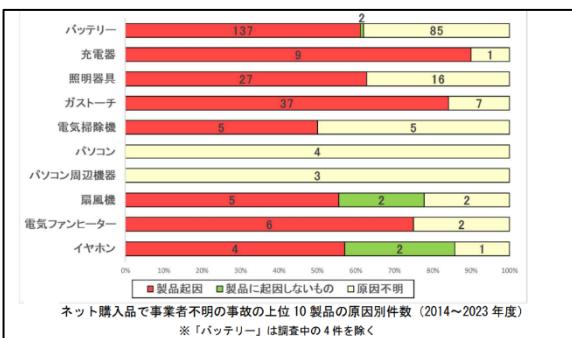
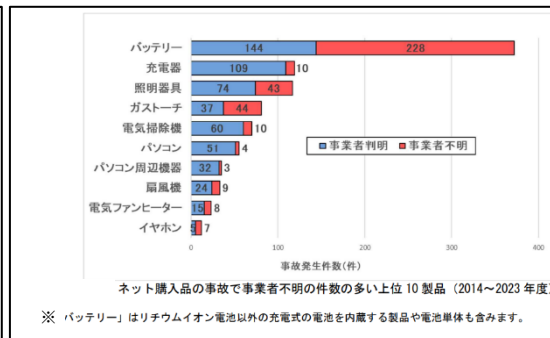
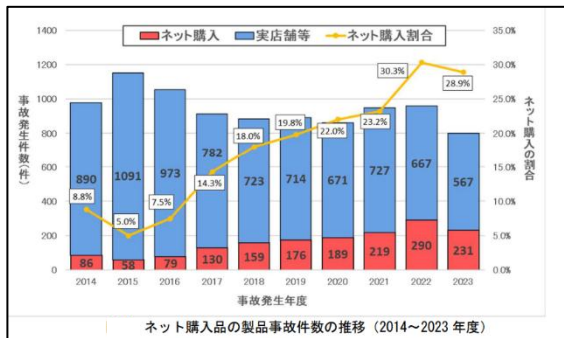
本 HP を参考にいただければと存じます。

また、ワイヤレスイヤホン、携帯扇風機、充電式カイロなど、スマートフォン、モバイルバッテリー以外の製品でもリチウムイオン電池は利用されております。同様にご注意ください。

### ■ リチウムイオン電池を使用した製品を購入する際に注意いただきたい点

ネット通販で購入した製品の事故が近年増加しており、バッテリー類の事故発生品にて約 60% が製品起因、約 60% が事業者不明となっています。(NITE 調べ)

購入前に販売事業者の電話番号や問い合わせ窓口が明記されているか、製品の説明文をよく読むなど、事前に注意をお願いいたします。



出典：ネット通販の落とし穴「ポチる」前に確認すべき 4 つのポイント (NITE)

<https://www.nite.go.jp/data/000156814.pdf>

モバイルバッテリーを購入する際は PSE マークが付いているか必ずご確認ください。

MCPC マーク★も安全を見極める目安になります。

★MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)が策定する、基本機能、安全性などの自主的なガイドラインに基づく評価試験に合格した製品に表示されるマークです。



取扱いに当たって注意いただきたい点

下記の NG シーンや事例にご注意ください。

●こんなシーンは NG

- ①強い力や衝撃を与える(高所からの落下、踏みつけ、投げつけ、挟み込み)
- ②電池を取り外そうと分解する
- ③濡れたため、ドライヤーや電子レンジで乾かす
- ④ペットなどが噛みつく
- ⑤夏場の車中やストーブの前、サウナなど高温な環境に置く
- ⑥水に浸したり、過度の湿気にさらす



【MCPC啓発ロゴ】

### <事例その1>

- ・スマートフォンやモバイルバッテリーを落下し、発煙・発火したケース

⇒ 外部加圧や落下など強い衝撃を加えないよう、注意！

### <事例その2>

- ・スマートフォンを分解しようとして、発煙・発火したケース

⇒ 分解しないでください！

リチウムイオン電池を損傷させることで事故が発生する可能性があります。

### <事例その3>

- ・モバイルバッテリーを夏場、車の中に置きっぱなしで発煙・発火したケース

⇒ 車に置きっぱなしにしないように注意！！ダッシュボードはかなり高温になります。

### <事例その4>

- ・モバイルバッテリーが電車で回転座席に挟まった状態となり、発煙・発火したケース

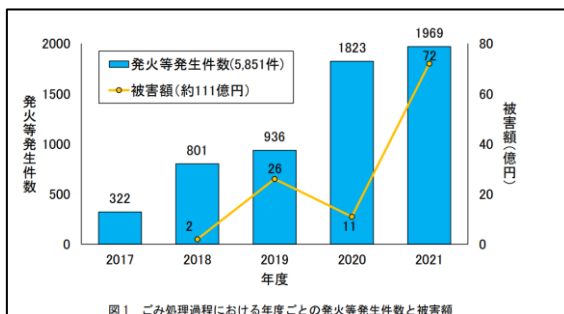
⇒ 座席に挟まるなど外圧がかからないように注意！！

## ❏ 廃棄にあたっての注意いただきたい点

リチウムイオン電池を内蔵した製品が一般ごみと一緒に捨てられ、ゴミ収集車や焼却場で出火する火災も発生しており、ごみ処理過程における被害額や件数が増加傾向にあります。

春の引っ越し時期を迎え、処分やリサイクルされる方も増えてと思いますが、一般ゴミと一緒に廃棄されないよう、ご注意ください。

### ● 発火等発生件数



【出典】NITE 「ごみ捨て火災」、被害は100億円超え！

～充電式電池は正しく捨てましょう～

<https://www.nite.go.jp/data/000149340.pdf>

### ● 再現実験映像



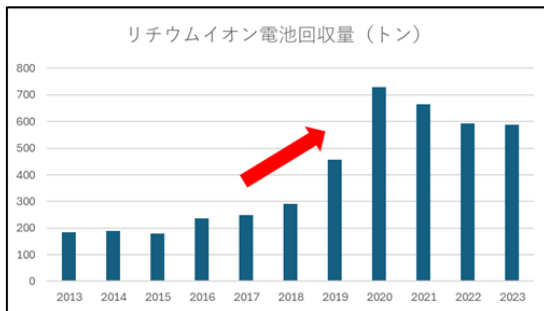
【出典】KDDI スマートフォンのリチウムイオン電池を安全に使うためのご利用ガイド

<https://www.au.com/mobile/gimon/lp/ts202501/>

※専門家が実験を行っております。大変危険ですのでマネしないでください。

※撮影のためリアケースは取り外して検証しております。

●リチウムイオン電池回収量



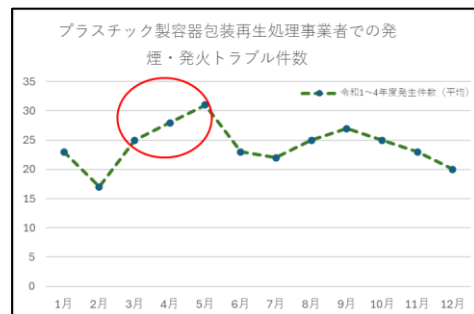
【出典】JBRC リサイクル実績より引用

[https://www.jbrc.com/recycle/graph\\_year/](https://www.jbrc.com/recycle/graph_year/)

出典元データを MCPC にて加工

・リチウムイオン電池回収量も増加しており、10年で3倍以上に

●発煙・発火トラブル件数



【出典】日本容器包装リサイクル協会

リチウムイオン電池等の発火物が原因になる発煙・発火トラブルより引用

<https://www.jcpra.or.jp/municipality/dangerous/tabid/757/index.php#Tab757>

出典元データを MCPC にて加工

・リサイクル施設へリチウムイオン電池が混入し、発煙・発火トラブルも発生。

(春に増える傾向)

📌 通信事業者／モバイルバッテリーベンダーによる注意喚起

やってはいけない具体的 NG 事例や廃棄方法など、各オウンドメディアにて記事を掲載しております。(通信事業者 4 社、モバイルバッテリーベンダー6 社)

📌 リチウムイオン電池を使用している製品例

スマートフォン、モバイルバッテリーの他にも、ワイヤレスイヤホン、携帯扇風機、充電式カイロなどもリチウムイオン電池を使用しております。同様にご注意ください。

また、充電式カイロや携帯扇風機など季節により長期間利用されない場合は、バッテリーの残量が 0% の状態で長期間放置しますと、バッテリーの劣化につながりますのでご注意ください。

📌 消費者庁でのリチウムイオン電池使用製品に関する注意喚起などの掲載

消費者庁における注意喚起に関する情報について紹介しております。

#### 【MCPCについて】

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田 靖彦)は、業界の枠を超えてモバイルコンピューティングを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意業界団体です。

スマートフォン等のUSB充電インタフェース安全設計ガイドラインおよび、モバイル機器安全設計ガイドライン、端末インタフェースガイドライン、Bluetooth関連ガイドラインなど多数の標準化作業をはじめ、「IoTシステム技術検定」、「モバイルシステム技術検定」、「ワイヤレスIoTプランナー検定」、「ローカル5G実践研修講座」などを通して、モバイル、IoT/AIの普及拡大に貢献しております。

MCPC加盟企業・団体161社(2024年2月1日現在) <https://www.mcpc-jp.org>

「本件に対する問合せ先」

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)事務局

所在地:〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリービル2F

電話:03-5401-1935

E-Mail: [office@mcpc-jp.org](mailto:office@mcpc-jp.org)